

科目名	建設機械 2							年度	2025
英語科目名	Construction Machine Operation 2							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	奥山 新吾	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		
【科目の目的】 建設機械の操作技術を習得し、安全管理を徹底するとともに、故障診断とメンテナンス技術を身につけ、さまざまな建設現場の条件に適応し効率的に作業を遂行できる能力を養うこと。									
【科目の概要】 土木施工、造園施工で使用する建設機械の免許を取得するための講習を実施します。									
【到達目標】 1 基本操作の理解と実行 機械の基本的な操作方法を理解し、実際に操作できる能力。 2 安全管理能力 建設機械の使用における安全管理の基準を理解し、適切な安全措置を講じる能力。 3 故障診断とメンテナンス技術 建設機械の故障を正確に診断し、基本的なメンテナンスや修理を行う技術。 4 作業効率の最適化 建設機械を用いた作業の効率を理解し、最適な方法で作業を実行する能力。 5 現場適応力 異なる建設現場の環境や条件に柔軟に適応し、効果的に機械を操作する能力。									
【授業の注意点】 通常授業時間外（夏季休暇中）に実施する。受講費用が別途必要となるので、注意すること。校外の授業であり、当然、一般の受講者もいる環境であるので、基本的な受講マナーを厳守すること。対象になる特別教育・技能講習をすでに修了しているものは、他の特別教育・技能講習の受講によって単位を認定する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	どんな現場も適応	効果的な適応	基本的な適応	少しの適応のみ	現場への適応なし				
到達目標 B	どんな現場も適応	効果的な適応	基本的な適応	少しの適応のみ	現場への適応なし				
到達目標 C	どんな現場も適応	効果的な適応	基本的な適応	少しの適応のみ	現場への適応なし				
到達目標 D	どんな現場も適応	効果的な適応	基本的な適応	少しの適応のみ	現場への適応なし				
到達目標 E	どんな現場も適応	効果的な適応	基本的な適応	少しの適応のみ	現場への適応なし				
【教科書】 各講習による									
【参考資料】 配布資料による									
【成績の評価方法・評価基準】 規定の時間をすべて受講し、講習を修了することを条件とする。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

[illegible]